

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

|      | 単位 | 2021/12/31 | 2022/5/31 | 2022/6/17 | 過去3年高値    |           | 過去3年安値    |           |
|------|----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|      |    | (前年末)      | (前月末)     | (前週末)     | 水準        | 日付        | 水準        | 日付        |
| 日経平均 | 円  | 28,791.71  | 27,279.80 | 25,963.00 | 30,795.78 | 2021/9/14 | 16,358.19 | 2020/3/19 |
| NYダウ | ドル | 36,338.30  | 32,990.12 | 29,888.78 | 36,952.65 | 2022/1/5  | 18,213.65 | 2020/3/23 |
| 円/ドル | 円  | 115.08     | 128.67    | 135.02    | 135.59    | 2022/6/15 | 101.19    | 2020/3/9  |

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~米CPI(消費者物価指数)の大幅な伸びを受け、FRB(米連邦準備理事会)の積極的な金融引き締めによる景気減速懸念が強まったことから下落~

先週の日本株市場は、日経平均が▲1,861.29円(▲6.69%)、TOPIXが▲107.19ポイント(▲5.52%)となり、米CPIの大幅な伸びを受け、FRBの積極的な金融引き締めによる景気減速懸念が強まったことから下落しました。業種別(東証33業種)でみると、水産・農林業、食料品の2業種が上昇した一方、鉱業、機械、サービス業、精密機器などの31業種が下落しました。週初13日は、先々週末に発表された5月の米CPIが市場予想以上の大幅な伸びとなったことを受け、FRBによる積極的な金融引き締めが秋以降も継続し、過度な利上げが米景気を冷やすとの懸念が強まったことや、中国上海市の一部地域におけるロックダウンの再導入が嫌気されたことなどから大きく下落して始まりしました。その後も、14-15日に開催されるFOMC(米連邦公開市場委員会)において0.75%の利上げが決定されるとの見方が急速に広まり米長期金利が上昇する中、FOMCの結果に対する警戒感から続落しました。16日は、FOMCで市場予想通り0.75%の利上げが決定された一方、パウエルFRB議長がFOMC後の記者会見で「0.75%が一般的な利上げ幅になるとは予想していない」と述べたことを受けて米金融引き締めに対する過度な警戒感が後退したことから小幅反発しましたが、週末17日は、前日にスイス国立銀行(中央銀行)が予想外に利上げを実施したことを受け、米欧主要中央銀行による金融引き締めが世界景気の大規模な減速を招くとの懸念が再燃したことから再び下落して引けました。

3. 今週の主な予定

| 日程    | 曜日  | 国・地域 | 項目                            | 期間 | 前回      |
|-------|-----|------|-------------------------------|----|---------|
| 6月21日 | Tue | 米国   | 中古住宅販売件数                      | 5月 | 5,610千件 |
| 6月22日 | Wed | 欧州   | ユーロ圏消費者信頼感指数                  | 6月 | ▲21.1   |
|       |     | 米国   | パウエルFRB議長、議会証言(22日:上院、23日:下院) |    |         |
| 6月23日 | Thu | 欧州   | ユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)         | 6月 | 54.6    |
|       |     |      | ユーロ圏サービス業PMI                  | 6月 | 56.1    |
|       |     |      | EU(欧州連合)首脳会議(ブリュッセル)、24日まで    |    |         |
|       |     | 米国   | 製造業PMI                        | 6月 | 57.0    |
| 6月24日 | Fri | 日本   | CPI(全国消費者物価指数)(除生鮮/前年比)       | 5月 | +2.1%   |
|       |     | ドイツ  | IFO企業景況感指数                    | 6月 | 93.0    |
|       |     | 米国   | サービス業PMI                      | 6月 | 53.4    |
|       |     | 米国   | 新築住宅販売件数                      | 5月 | 591千件   |

決算発表予定 他 海外 決算発表 : 6/23 フェデックス

※当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~世界的な金融引き締めやそれに伴う景気減速の影響を見極めつつ、小幅に下落~

今週の日本株市場は、世界的な金融引き締めやそれに伴う景気減速の影響を見極めつつ、小幅に下落するとみています。先週はFOMCの0.75%利上げやスイス国立銀行の予想外の利上げが株価の大幅下落要因となりましたが、世界的なインフレ懸念がある中で今後も金融引き締めを強化する流れが続くとみており、当面株価の上値抑制要因として働き続けるとみています。なお、今週は米上下院でパウエルFRB議長の議会証言が予定されており、先週のFOMC後の記者会見での発言が踏襲されるとみていますが、発言内容には注視が必要と考えます。また、米欧主要国では金融引き締めに伴う景気減速への懸念も強まっており、23日に発表される米欧のPMIが予想以上に悪化すれば一段の株価下落材料になるとみています。但し、国内株式については、①日銀が緩和的な金融政策を維持する姿勢を示したこと、②円安進行による企業業績の上振れ期待があること、③インバウンドの再開や新たな全国旅行支援(県民割の全国拡大)による景気回復期待があること、④バリュエーション面で割安感があることなどから一段の下落余地は限定的とみています。その他の注目材料として、日本では24日のCPI、米国では21日の中古住宅販売件数、24日の新築住宅販売件数、欧州では22日のユーロ圏消費者信頼感指数、ドイツでは24日のIFO企業景況感指数などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.  
URL: <https://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会